

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートなかがわ			
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 21日		～	令和7年 5月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 21日		～	令和7年 5月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性に合わせたプログラムを組んでいること	月ごとに予定表をつくり、利用するこどもの特性に合わせたプログラムを行っている。楽しく参加出来るよう。日頃からこどもたちの興味のあるものを探るようにしている。	こどもたちが興味のあるものから学習課題を作ったりプログラムを作っているが、それに加え、興味の幅を広げられるように、個別活動と集団活動を交えて日々の細かな変化を職員間で共有し、次の活動プログラムに反映できるよう取り組んでいる。
2	専門的支援の充実さ	教育、保育の経験のあるスタッフが支援を行うことで、その場かぎりにならない支援ができています。職員間での情報共有を頻繁に行っている。	店舗での研修を継続していくこと、外部の研修を積極的に参加し、職員間でも共有をしていく。また、職員の意識も経験だけにとらわれず、常にアップデートをしていくことを心がけている。
3	保護者との支援内容のすりあわせができています	面談やモニタリングの際に保護者の方と綿密に話し合いをしています。	日常に起こる些細なことでも、送迎時や連絡帳で保護者の方と連絡をとっている。また、緊急時には電話やメールでの対応も行っており、迅速に職員が対応できるようにしている。職員間での情報共有も欠かさずしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場が少ない	保護者の方が忙しかったり、保護者同士の関わりに消極的な方がいらっしゃることもあり、なかなか実施することができていない。	保護者の方が参加でき、さらにこどもたちの様子が見られるイベントの開催を検討していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	キッズサポートなかがわ
------	-------------

令和7年 5月 16日
公表日 日

令和7年 5月 16日
利用児童数 日 回収数 3

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2			1	書類の不備があることがあるため、事務的な面ではもしかしたら、不足しているかなと感じる。	書類不備がないよう、二重で確認作業をしていくよう努力していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2			1	現場を見る機会がほとんどないため、もっと現場を見られる機会がほしい。	今後実施に向けて検討していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	1			以前は工夫されていると感じた。現在は簡素化されているような感じがする。	同じ活動にならないよう、子どもたちに合わせた活動プログラムを提供できるよう努力してまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	1			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	1	1		面談でのすり合わせをしているため、改めての説明は今後もし必要はないと思う。	支援計画作成時と更新時に支援内容について丁寧に説明を行っております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		1	1	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1			もし可能であれば、子どもの様子をもっと知るために週1回でも写真や動画付きの活動内容を共有してほしい。	今後実施に向けて検討していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1	2	同じ学区の同級生がいれば、保護者の交流会があると、進学の時心強い。	今後実施に向けて検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	1		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1			2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	1		1	訓練があるのかよくわからない	定期的にマニュアルについて周知するようにいたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			2	訓練があるのかよくわからない	毎月、非常災害を想定した避難訓練の実施や防災についての学習を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3				本人が楽しく通えているので、とてもありがたい。親が学べるような、きっかけとなるような情報発信をして頂けたら尚ありがたい。	保護者の方にも知っていただけるような情報発信の実施に向け、検討していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3					
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	1			感覚統合ピラミッドなどよく耳にするが、あまりよくわかっていないことも多いため、家庭でもできることがあれば取り入れていきたい。	今後も満足していただけるよう努力してまいります。ご家庭でも取り入れていただける活動をご提案させていただけるよう、検討していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
キッズサポート なかがわ		令和7年 5月 16日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		適切です。	継続していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2		職員の人数自体、基本的には足りているが、状況によっては職員が足りないと感じることもあります。今後は今以上に事前に緻密なミーティングや話し合いを重ねて、職員同士の情報共有をしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		適切です。	より良い構造化の工夫と環境整備を進めさせていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		適切です。	継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		適切です。	継続していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		適切です。	継続していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎年実施しております。	今後も保護者等の意向を把握し、業務改善に努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		朝礼、終礼時に細かなことまで共有しています。	継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5		現在、第三者評価を行っておりません。今後行っていけるよう、進めてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		各種研修に参加しております。また、勉強会も行っております。	継続していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		モニタリングと支援会議を行い、作成しております。	継続していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			継続していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援についての研修を行い、支援方法について確認するとともに、日頃から職員間での意見交を行っております。問題があれば、速やかに対応し、改善出来るようにしております。	継続していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			継続していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		具体的支援内容を設定しております。	継続していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		職員会議で決定しております。	継続していきます。

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		曜日、日にちごとに活動の目標を設定し、予定表を施設内に掲示、各家庭に配布しております。	継続していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		こどもの状況や特性を考慮しながら、個別活動と集団活動を組み合わせています。	継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎日、朝礼でその日の活動内容を確認し、こどもの情報を共有しています。	継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		毎日、終礼で支援内容を振り返り、記録を残しております。	継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		毎日、終礼で支援内容を振り返り、記録を残しております。その際、一人ひとりの様子を確認しています。	継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			継続していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達管理責任者が参加するようにしています。	継続していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			継続していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			継続していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			継続していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		8		検討いたします。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		検討いたします。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		連絡帳や毎日の送迎時にお伝えしております。必要に応じては、電話での対応も行っております。	継続していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5	プログラムとしては行っておりませんが、個別での相談に応じさせていただいております。	検討いたします。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		ご契約時に説明しています。	継続していきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			継続していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			継続していきます。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		相談があった場合、速やかに対応をし、職員間で情報共有をしております。	継続していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		現状に適した開催方法を検討したいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			継続していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			より多くの方に見ていただけるように周知します。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		全職員が秘密情報の保持について、契約書を書いています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		構造化や、情報の図示などを行っています。	継続していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2		今後どのような形でできるか検討いたします。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		定期的に作成し、訓練も行っております。	継続していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	3	月に一度避難訓練を取り入れていますが、BCPを策定を行っていません。今後、行っていけるよう、努めます。	継続していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		年度初めや都度、保護者から情報を得ています。日頃の様子については、連絡帳から情報を得ています。坐薬保管が必要な方には石の指示書をいただいております。	継続していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		保護者からアレルギーの情報を得ています。その際、医師からどのように言われているか確認もしております。	継続していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			継続していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			継続していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			継続していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待になる行為について職員間で共有しています。	継続していきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		身体拘束について職員間で共有しております。現在該当する職員・利用者はいません。	継続していきます。